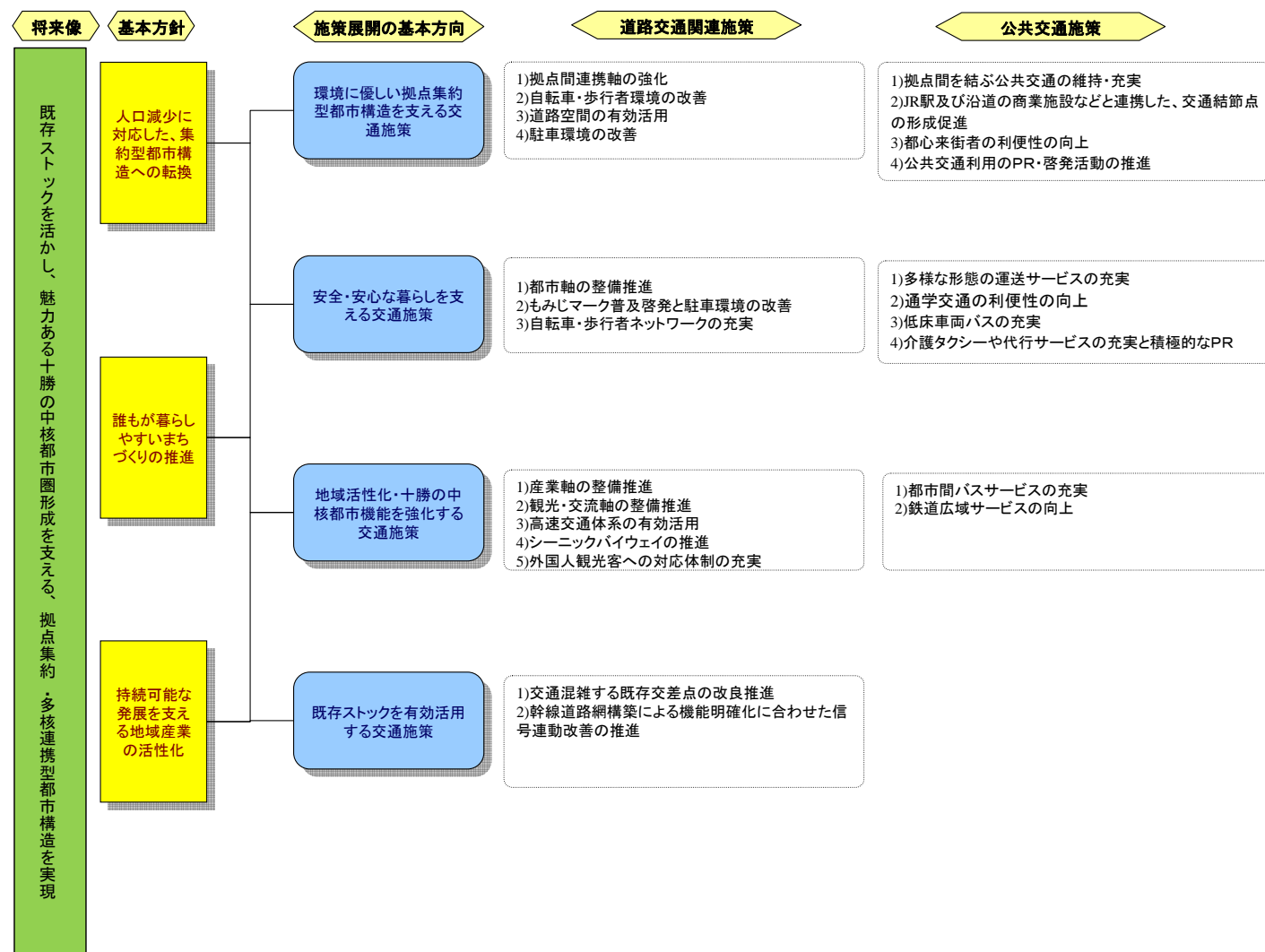


# 帯広圏都市交通マスタープランについて

## 1 都市交通マスタープランとは

- 都市交通実態調査に基づき、交通実態の分析や都市圏の将来交通量予測を行い、都市計画道路や公共交通及び交通結節点の将来計画により、概ね 20 年後を目標とした都市圏全体の交通施策のあり方を提案するもの。
- 帯広圏（帯広・音更・幕別・芽室）では、平成 17 年度に実態調査、平成 18 年度に現況解析を行い、平成 19 年度に帯広圏都市交通マスタープラン（以下、「交通MP」）を策定。
- 交通 MP では、平成 37 年（令和 7 年）における帯広圏の将来像と基本方針を設定するとともに、将来像を実現するための交通施策を示している。
- 北海道と帯広圏が共同で実態調査からMP策定を行った。
- 帯広圏の交通施策展開のイメージ図



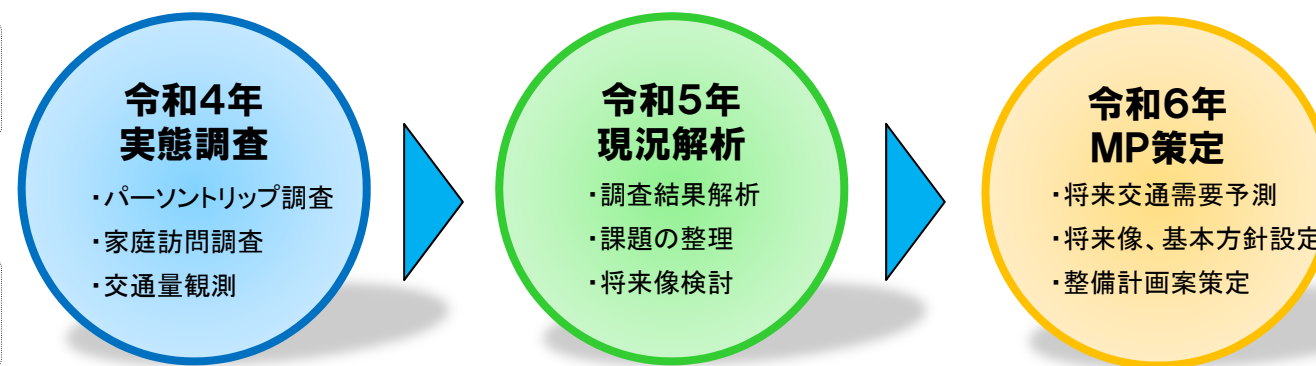
## 2 次期交通MPの策定について

- 以下の観点から、次期交通MPの策定が必要。
  - ・目標年次（令和 7 年）に近づいてきている。
  - ・現交通MP策定以降、帯広圏・十勝圏では交通を取り巻く情勢が大きく変化している。
  - ・令和 2 年度には「帯広圏都市計画 都市計画区域の整備、開発及び保全の方針」が見直され、10 年後（令和 12 年）の土地利用や都市施設等の方針が示されたことから、この方針に即するよう、交通施設等の必要性や規模等について検討が必要。

### 《現交通MP策定以降の主な情勢の変化》

- ・北海道横断自動車道及び帯広・広尾自動車道の整備延伸等
- ・長流枝 S I C の事業着手
- ・道の駅増設
- ・共栄通、弥生新道、弥生通の開通
- ・トカプチ 400 のナショナルサイクルルート指定
- ・物流中継拠点の構想
- ・帯広市稲田川西地区土地区画整理事業の完了

### 《今後のスケジュール》



### 《組織体系（予定）》

| 組織       | 構成   | 役割   | 備考     |
|----------|--|--|--------|
| 協議会      | 学識、開発局、運輸局、Nexco、JR、バス協会、道警本部、北海道、圏域           | 調査全体に関する基本方針及び重要事項の連絡、調整   | 北海道が設置 |
| 計画課題検討WG | 学識、開発局、北海道、圏域                                  | 協議会に付すべき事項についての審議・調整や調査に関わる専門的事項についての検討を行うとともに、調整が必要な事項に対して助言や指導を行う。 | 北海道が設置 |
| 地区検討委員会  | 学識、帯広開建、帯広運輸支局、振興局、警察署、Nexco、JR、商工会議所、バス協会等、圏域 | 帯広圏における調査に関わる事項についての検討や、関係機関との連絡・調整                                  | 圏域が設置  |